

プレスリリース
報道関係者各位

「deleteC 大作戦 2026」今年も9月に全国で開催！
「投稿」「買い物」「学び」「みんなの CSA！」の
4つの“カジュアルソーシャルアクション”で、がん治療研究支援とがん啓発
＜参加希望企業・団体向け説明会実施！ <https://www.delete-c.com/news-post/260610>>



認定 NPO 法人 deleteC(デリート・シー／代表理事:小国士朗)は、2026年9月1日(火)から9月30日(水)までの「がん征圧月間」「健康増進普及月間」にあわせて、全国の市民・企業・団体・医療者が一体となって、がん治療研究への寄付支援とがん啓発に取り組む「deleteC 大作戦 2026」を開催します。

今年で7回目を迎える deleteC 大作戦では、SNS への投稿や日々の買い物など、誰もがふだんの暮らしの中で気軽にがん治療研究の応援に参加できる「カジュアルソーシャルアクション(CSA)」を全国で展開します。

2026年度は、これまでの「投稿」「買い物」に加え、企業・自治体向け deleteC CSA セッションや学校向けがん教育などの「学び」、さらに企業・団体それぞれの強みを生かした自由な発想でアクションを企画できる「みんなの CSA！」を新たに展開し、より多様な形で市民参加を広げていきます。

deleteC ではこれまで、小児がん、子宮頸がん、胃がん、肺がん、乳がん、膵がんなどを対象とした臨床研究や基礎研究を行う医師・研究者 14 名に対して総額 6,000 万円以上の寄付・助成を実施してきました。2026 年度からは「立ち上がり研究」をコンセプトに、若手研究者や研究が一步を踏み出せるよう、市民の力で支える研究公募を実施し、過去最多となる 70 件を超える応募が寄せられました。

期間中にあつまった寄付の支援先は、2027 年 2 月 4 日に TOKYO NODE HALL(虎ノ門)にて開催する授賞式「deleteC 2027 -HOPE-」にて発表いたします。2026 年度は 4 つのがん治療研究への支援を予定しており、研究者の表彰に加え、カジュアルソーシャルアクションに取り組む市民や企業を表彰する「CSA アワード」も開催します。

※CSA とは、ふだんの暮らしの中でできることから始める軽やかなアクションを指し、日常の行動を社会貢献につなげる新しいコンセプトです。

■deleteC 大作戦 2026 実施概要

【実施期間】2026 年 9 月 1 日(火)～9 月 30 日(水)

【deleteC 大作戦特設サイト】<https://www.delete-c.com/daisakusen>

※参加企業・団体および各アクションの詳細は 2026 年 8 月上旬より順次発表します。

【主な実施内容】

「投稿」「買い物」「学び」「みんなの CSA！」の4つの「カジュアルソーシャルアクション」が登場

deleteC 大作戦とは、毎年 9 月のがん征圧月間に全国で「投稿」「買い物」「学び」などのカジュアルソーシャルアクション(CSA)を通じて、がん治療研究を寄付と啓発で応援する取り組みです。2026 年度は次の 4 つのアクションを展開します。

① 「投稿」アクション	SNS への投稿やリアクションが、がん治療研究への寄付につながるアクションです。
② 「買い物」アクション	全国のスーパーマーケットやドラッグストアなどで対象商品を購入すると、売上の一部ががん治療研究への寄付となります。
③ 「学び」アクション※	企業・自治体向け deleteC CSA セッションや健康経営・社会貢献研修、学校向けがん教育プログラムなど、「学ぶこと」が応援につながる新たなアクションです。

④ 「みんなの CSA 」 アクション	企業・団体がそれぞれの強みや特徴を生かし、自由な発想でオリジナルの CSA を企画・実施する新たな取り組みです。ウォーキング、スポーツ観戦、音楽鑑賞、旅行、入浴など、さまざまな日常の行動をがん治療研究支援へとつなげます。
------------------------	--

■「学び」アクション

企業・自治体向け「deleteC CSA セッション」プログラム概要

「deleteC CSA セッション」では、がんを取り巻く現状や、がん治療研究を応援する意義、国内外のカジュアルソーシャルアクション(CSA)の事例などを紹介するインプットを行います。その後、参加企業・団体が自社の強みや事業特性を生かした deleteC アクションや自社の社会貢献活動を考えるワークショップを実施し、参加者同士の対話を通じてアイデアの社会実装を目指してディスカッションします。

プログラムは、①deleteC や CSA の取り組みに関する事例紹介、②自社の強みを生かしたアクションを考えるワーク、③各社・地域が抱える課題やテーマをもとにしたディスカッションと企画づくり、④発表・質疑応答で構成、社会課題を「知る」だけでなく、CSA を通じて「自分にも(自社にも)できる行動につなげる」実践型プログラムです。

企業・自治体・教育機関など、多様な主体がそれぞれの立場から、がん治療研究支援とがん啓発につながるアクションを生み出すきっかけとなることを目指しています。対象は、企業・自治体のサステナビリティ担当者、広報・PR 担当者、マーケティング担当者、コーポレートブランディング担当者などを想定しています。



■ deleteC 大作戦参加企業・団体向け オンライン合同説明会実施

6月30日(火) 16:00~17:00 / 17:00~18:00

7月7日(火) 16:00~17:00 / 17:00~18:00

7月14日(火) 16:00~17:00 / 17:00~18:00

7月22日(火) 16:00~17:00 / 17:00~18:00

※各回とも同内容です。

<参加申込フォーム>

[\[deleteC 大作戦 2026\] 説明会参加申し込みフォーム](#)

■ deleteC 大作戦 2026 代表理事メッセージ

「みんなの力で、がんを治せる病気に」。

2020年から始まった「deleteC 大作戦」は今年で7回目を迎えます。

これまで毎年9月のがん征圧月間に、ふだんの暮らしの中で誰もが軽やかにがん治療研究の応援に参加できる「カジュアル・ソーシャル・アクション(CSA)」を全国各地で展開してきました。SNSの投稿が、スーパーマーケットでの買い物、音楽鑑賞やスポーツ観戦が、それ以外にもたくさんの方のアクションが応援につながる“CSAの祭典”です。

一つひとつ、一人ひとりのアクションは小さなものかもしれませんが、

でも、それが広がって、重なって、あつまると、大きな力になる。

これまでに私たちが応援をしてきた、がん治療研究は14にのぼります。

「市民の応援は力になっていますか？」と研究者たちに聞いてみると、

「100%YES!」という答えが力強く返ってきました。

「研究自体を諦めかけていた中で、研究の機会を与えてくれたのが deleteC でした」。

「日本の国際共同試験への参画が実現し、一歩前に進みました」

「治験の成功例として、論文に発表しました」

「deleteC は、研究を始める1歩、研究を続ける勇気を与えてくれました」

研究者たちのこんな声を聞くと、心が沸き立ちます。
立ち上がった研究の新たな一歩を後押しできるようもっと応援したい。
日本中、1億人が参加できるような CSA の輪をもっともっと広げたい。
そんな風に心から思うのです。

今年から、deleteC 大作戦の参加を「エントリー制」にすることにしました。
「買い物」「投稿」といった王道のものから、「学び」「ウォーキング」「旅」「入浴」といったユニークなものまで、これまでにたくさんの CSA が生まれてきましたが、まだまだ「その手があったか!」という CSA もきっとあると思います。

deleteC 大作戦で、みなさんの考える CSA を思い切り表現して、みんなの力で、がんを治せる病気にする未来をたぐり寄せられたらと思います。

認定 NPO 法人 deleteC 代表理事 小国士朗

■ deleteC スローガン

いつでもどこでもかろやかにがん治療研究の応援ができる。
それが、カジュアルソーシャルアクション(CSA)。

世代や立場をこえて、誰でもできる。
投稿するだけで、買うだけで、いろんな方法でできる。

ひとつひとつは小さな営みでも、あつまって、重なって、広がれば、
「がんを治せる病気にする」という未来を手繰り寄せることができるはずだから。

ふだんの暮らしが、応援になる。
できることから、かろやかに、はじめよう。

■ deleteC について

誰もがふだんの暮らしの中でがん治療研究を応援できる仕組みをつくり、がん治療研究への寄付と啓発につながるカジュアルソーシャルアクションを通じて、1日でも早く「がんを治せる病気にする日」を手繰り寄せることに貢献することを目的に、2019年に設立。2022年には、認定 NPO 法人として、東京都に承認されました。

具体的には、プロジェクトに参加する企業・団体が自身のブランドロゴや商品、またはサービス名から Cancer の頭文字である「C」の文字を消したり、deleteC のロゴやコンセプトカラーを使うなどし、オリジナル商品・サービスを企画・提供します。購入金額の一部は deleteC を通じて、医師・研究者が推進するがん治療に寄付(※)としてお渡しし、市民もがん治療研究の応援に参加できる仕組みをつくっています。

毎年秋には「deleteC 大作戦」と題し、SNS 投稿・拡散、買い物、学びなどの CSA ががん治療研究への寄付に繋がる取り組みを実施。2月には「deleteC -HOPE-」を開催し、がん治療研究を推し進める医師・研究者に寄付をお渡します。

寄付先となるがん治療研究については、公募を実施し、がん臨床試験の専門的知見を有する医師のほか、プロジェクト参加企業、deleteC 医療リサーチチームといった多様な視点を持つメンバーで選考委員会を構成し、公正なる審査のもと、寄付先を決定します。現在は、参加企業・団体 200 社を超える方々に支持されており、これまでに小児がん、子宮頸がん、胃がん、肺がん、乳がん、膵がんなどの臨床専門医や放射線専門医、基礎研究者、リサーチナースなど 14名の医師・研究者に総額6,000 万円以上を支援しています。

寄付先のがん治療研究は受賞の1年半後に、寄付・啓発対象テーマの進捗・成果をご報告頂くと共に、その後も進展等をお知らせ頂いています。これまでの受賞者からは新たな研究段階に進んだことや、学術誌に研究成果が報告されたことなど、寄付が研究を進める後押しになったと声が寄せられています。(※)寄付金は、がん治療研究及び、啓発コンテンツ制作費など deleteC の活動に充てられます。

【法人概要】

団体名 : 認定特定非営利活動法人 deleteC
(2022年9月22日交付・認定番号4生都管第703号)
設立 : 2019年9月5日
代表 : 代表理事 小国士朗
事業内容 : (1)ロゴ等を活用したがん啓発事業
(2)がん啓発イベント事業
(3)がん医学研究に対する寄付・助成事業
(4)がん医学研究に関する事業提供・啓発事業
(5)その他その目的を達成するために必要な事業
HP : <https://www.delete-c.com/>